

レビュー研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫		
	タイプ			
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgical resection for melanoma metastatic to the gastrointestinal tract.		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)		
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-11		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)		
	Pubmed ID			
	医中誌 ID			
	雑誌名	Arch Surg.		
	雑誌 ID			
	巻	131		
	号	9		
	ページ	975-9; 9-80		
	ISSN ナンバー	0004-0010 (Print)		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)		
	発行年月	1996		
	著者情報		氏名	所属機関
		筆頭著者	Ollila DW	John Wayne Cancer Institute, Saint John's Hospital, Santa Monica, Calif., USA.
その他著者 1		Essner R		
その他著者 2		Wanek LA		
その他著者 3		Morton DL.		
その他著者 4				
その他著者 5				
その他著者 6				
その他著者 7				
その他著者 8				
その他著者 9				
その他著者 10				

レビュー研究の6項目	目的	消化管転移切除の価値を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	消化管転移切除 124 例 生存期間中央値 根治術：48.9 月、緩和的手術：5.4 月、手術なし：5.7 月 手術による症状緩和（根治、緩和両者を含む）：97% 多変量解析：最も重要な予後因子は根治術と消化管が最初の遠隔転移臓器であることの2点。
	結論	ほとんど患者は手術によって症状の緩和ができた。消化管転移の切除は条件を満たす患者については強く考慮されるべきである。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 消化管転移でも条件を満たせば外科的治療が非常に有益であることを示した価値ある論文である。